

# 縄文時代を知ろう



富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前の縄文時代中期、わたしたちの住む中部高地・多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地には「井戸尻(勝坂)文化」と呼ばれる独特の暮らしがありました。ここで発見された、石器、土器、土偶や、郷土の芸能、祭り等から、その文化にふれ、縄文時代像の変遷をたどります。そして、宇宙・生命の誕生から現在まで、世界の神話・生活も参考にして、広く考えてみましょう。

## 講師紹介 藤森寛行

1962 年生まれ 「スワニミズムミシヤグジ探偵」  
信州諏訪の郷土研究会、スワニミズム所属。諏訪信仰と縄文時代中期の井戸尻文化について研究、日野市立南平児童館職員

半人半蛙文有孔罎付土器 藤内遺跡

人体文有孔罎付土器 釈迦堂遺跡

有孔罎付土器 林王寺遺跡

## 2023 年Ⅱ期 講座のテーマ あらためて井戸尻(勝坂)文化とは

- ① 9/2(土) 「このあたりの縄文時代」
- ② 10/□(火 or 木) 武蔵野美術大学民俗資料室見学 **—費用は別途—**
- ③ 11/4(土) 日本の旧石器時代の基礎を学ぶ
- ④ 12/2(土) 受講者による報告 (予定)

時間 10時～12時 **9月から第1土曜日**  
場所 社会教育協会「ゆうりか」  
(JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)  
受講料 6,110円 3回(保険料・消費税含)  
申込み 下記の電話か FAX でお願ひします  
TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626

対象 どなたでも  
主催 公益財団法人 社会教育協会  
〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3 階  
<http://www.zaidan-shakyo.org>

